

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		認知症カフェは再開したが、飲食の提供なく時間も短縮するなど制限が多い。 参加者が少ない。	コロナ以前の運営状態に近づける。 参加者を増やす。	①チラシの配布場所を拡大する。 ②感染対策をしながら、飲食できる環境を整える。 ③内容を充実させる。 ④職員全員がカフェに関われるようにする。	12ヶ月
2		コロナ禍、面会制限が続き、入居者様の様子をご家族に伝わりにくいいため、アンケートの設問内容が回答しづらい。 家族アンケートの回収率が低い。	アンケートの内容を見直し回収率を上げ介護サービスに反映させる。	①アンケート内容の見直し ・写真、便り等での報告から回答し易い設問内容にする。 ②家族面談を実施する。 ・ご家族、管理者、ユニットリーダーの3者で年1回実施。生活面、体調面等を伝えご意見、ご要望を伺う。 ・面談内容は事前に担当者と相談する。 ・家族面談時にアンケートは直接手渡す。	12ヶ月
3		屋外での活動が減り、入居者様の体力・脚力が低下が懸念される。	ホーム内外での運動等で体力をつけ、感染対策を講じた上で、屋外での活動を再開する。	①体操やホーム内歩行等で体を動かす機会を増やす。 ②リハビリスタッフの助言を受け、マシンを使った運動を行う。 ②散歩や見守り活動を継続する。 ②市内のイベント参加や屋外での行事を再開する。	12ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。